

地域支援対策部会

災害時ポケットマニュアル



難しいな
We can do it
今始めよう!!

地震発生時の対策

●地震発生時の行動

■家の中で

大きな揺れを感じたら、テーブルなどの下に隠れ、まずは自分自身の身を守ることが最優先です。決して無理はせず、落ち着いて行動しましょう。

■車の中で

徐々にスピードをゆるめ、ゆっくりと左側に停車しましょう。車を離れるときは、キーはつけたままで、ドアロックもしないようにしましょう。

■エレベーターで

地震時、停止装置が付いていたら、自動的に近い階で停止します。付いていなければ、全部のボタンを押し、停まった階で外に出ます。閉じ込められたら、非常ボタンを押し、救助を待ちます。

■スーパーやデパートで

手荷物やかごなどで頭を守り、ショーケースの転倒や商品の落下、ガラスの破片などに注意しましょう。
あわてて出口に向かうと危険ですので、店員の指示に従って冷静に行動しましょう。

■屋外で

ブロック塀や自動販売機、電柱や電線など、崩れたり倒れたりする可能性のあるものから離れ、空き地や公園などに避難しましょう。



緊急地震速報

緊急地震速報は、強い揺れが来ることを、テレビやラジオ、携帯電話でみなさんにすばやく知らせる情報です。地震の揺れを感じる前に緊急地震速報を見聞きした時も、緊急地震速報を見聞きする前に地震の揺れを感じた時も、行動内容は同じです。慌てず身の安全を確保しましょう。

台風について

台風が近づくと気象庁は、警報等の気象情報を発表します。平成25年8月から、大規模な災害が切迫していることを知らせる「特別警報」が創設されました。大雨・暴風・高潮・波浪・大雪・暴風雪については、警報の基準をはるかに超える危険度の高いものを「〇〇特別警報」といった名称で発表します。特別警報が発表されたら、ただちに命を守る行動をとることが必要です。



また、市町村から避難準備情報・避難勧告・避難指示が発令される場合があります。

避難準備情報	高齢者、障害者など避難行動に時間を要する者は、計画された避難場所への避難行動を開始。それ以外の者は避難の準備。
避難勧告	通常の避難行動ができる者が避難行動を開始しなければならない段階。計画された避難場所等への避難行動を開始。
避難指示	避難中の者は確実に避難を完了。未だ避難していない対象住民は、直ちに避難行動に移る。

災害用伝言ダイヤル（171）を活用しましょう！

ママ、△△小学校に避難しているよ。

無事が確認できて安心したわ。

遠方の家族など

171 にダイヤル

▼ガイダンスが流れます▼

録音は **1** 伝言は **2**

▼ガイダンスが流れます▼

()

被災地

被災地の方の電話番号を市外局番から入力

△△小学校に避難します。〇〇くんの無事も確認できました！

みんな無事だね！これから△△小学校に向かいます！

- 携帯電話から
各社のトップメニューで「災害用伝言板」を選択
- パソコンから
災害用ブロードバンド伝言板「web171」
<https://www.web171.jp>

避難場所一覧は下記QRコードをご覧ください。



さらに詳しいマニュアルは下記QRコードをご覧ください。

